

「こどもまんなか社会」をつくるために

こどものあなたが できること

（檀原市第1期こども計画 こども版）



こどもまんなか社会ナビゲーター
もっちー

ようこそ！ こどもまんなか社会の冒険へ。
君がこの社会を知ることはとても大切なことなんだ！
だから、いっしょに、「こどもまんなか社会」について
て知る旅に出よう！

そもそも

「こどもまんなか社会」ってなあに？

「こどもまんなか社会」は、こどもが安心して
まいにち たの 毎日を楽しみながらすごせる社会のことを言うんだ！
ひとり ひとりのかんがえやきもちが大切にされ、

やりたいことにチャレンジできるように、おとなたちがサポートするよ！

学校や地域、あそぶ場所など、どこにいても自分らしくいられて、
こま 困ったときには助けてもらえる社会のことなんだ。



みんなの宝物「子どもの権利」

いくつもっているかさがしてみよう!



君の宝物を見つけよう！たべること、あそぶこと、意見を聞いてもらうこと、そして、「生きていること」これらはとても大切な権利、つまりみんなの宝物なんだ！

子どもには、生まれたときから「子どもの権利」というものがあって、子どもまんなか社会をつくるためには、子どもに必要なことの全部が「子どもの権利」として守られないといけないんだ。

そして、「子どもの権利」として、一人ひとりの思いやかんがえが大切にされることが、将来、なりたい自分になるために絶対必要なことなんだ。

だから、君たちがもっている大切な宝物の「子どもの権利」を、おとなたちは力をあわせて守っていく必要があるんだ！

真の勇者は、自分のことも、まわりの人のことも大切にできる人だ！
自分だけじゃなく、まわりの人にも同じ権利があることを、いつまでも忘れてはいけない！

子どもの権利のなかには なに 何がふくまれるの？

たべたり、のんだりできること

あそぶことや休むこと

思いや意見をきいてもらえること

学校などで学ぶこと

必要なときに、病院にいったり、手当をしてもらえること

のこ
残り5こあるから
見てね！

各項目は、日本ユニセフ協会こども向け学習サイトより抜粋



こま 困ったときは仲間に
なかま たす 助けてもらおう!

つらいとき、かなしいとき、困ったときは、
とも 友だちやおとうさん、おかあさん、おじいちゃん、
おばあちゃんだけでなく、学校のせんせいなど、
自分が「この人になら言える」という人に
相談してみよう。

困ったときはどうしよう?
大丈夫! 頼れる仲間やお
とながそばにいるから、
安心して冒険を続けよう!



し そうだんまどぐち
市にも相談窓口はあるよ

べんきょう そうだん
勉強の相談

► 檜原市退職校園長会
(担当:阪本さん 080-5355-9419)

いじめや
がっこう い
学校に行きたいのに
い とき そうだん
行けない時の相談

► 学校教育課 (直通)
(0744-47-3001)

がっこう かていせいかつ
学校や家庭生活
などへの相談

► 檜原市青少年センター
(0744-28-3666)
• こども家庭相談ダイヤル
(0744-23-8331)

「こどもまんなか社会」をつくるための みんながとりくむミッション!



「こどもまんなか社会」をつくっていくために、こどものことをかんがえた「こども計画」をつくったぞ。みんなも、こどものためのまちづくりにむけて、自分の思いや意見を大事にしよう！

いろいろなおとなたちが「こどもまんなか社会」をかなえることをめざして
「槩原市こども計画」をつくったよ。
槩原市にすむこどもの君たち全員の未来と笑顔を守るため、
とくに、次のことに力を入れてとりくんでいくよ。

- 1 • こどもが意見やかんがえをおとなにつたえられる機会をつくる！
• 「こども自身が自分でかんがえて、行動するきもち」を大切にしたかかわり方をおとなたちにつたえる！
- 2 • 放課後に気軽に歩いて、遊んだり勉強したりする場所をつくる！
• こどもが気軽に相談できるようなしきみをつくる！
- 3 • 友だちや仲間など、あたらしい人と出会える機会をふやす！

こどもまんなか社会をつくるためには、

こどもである君の意見が必要なんだ。

まずは、君が思っていること、かんじていることを、

おとなにつたえるところからはじめてみよう！

そうすれば、きっと社会はかわっていくよ！！